



第1876回 例会

2012-13年度RI会長: 田中 作次  
第2640地区ガバナー: 北中 登一  
創立: 昭和49年5月15日  
会長: 橋本隆  
幹事: 吉本正美  
会報: 前田吉彦



VOL. 39 No. 34

2013年3月27日(水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
きのくに信用金庫田辺支店3F  
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 橋本 隆 会長

唱歌

“ さくらさくら ”

野村 憲司 君



ビジター

田辺ロータリークラブ

榎本 長治 様

出席報告

| 会員数              | 義務免除 | 欠席者数 | 本日出席率  |
|------------------|------|------|--------|
| 52名              | 7名   | 8名   | 82.22% |
| 3月6日修正出席率 89.36% |      |      |        |

ゲスト

ダイビングスクール プライム

仮屋 伸一 様

ニコニコ箱

(敬称略)

◇お世話になります。 田辺RC 榎本長治様

◇ダイビングスクール プライム 仮屋伸一様をお迎えして。

後藤・平野・本田・石井・片井・畔田・丸山博・森本・中川・岡本・坂本・武田・竹村・谷峯・谷本・谷中・上原・山本・吉田・吉本

◇葬儀の節は大変お世話になりました。橋本・佐田

◇家の桜が咲きました。 愛須

◇孫娘が防衛医科大学と東京大学理科二類に現役で合格しました。 堀

◇上野公園に花見に行って来ました。 岩崎

◇田辺クラブゴルフコンペで3パット2回しました。でも、5位でした。 玉置

◇3月13日(水)の移動例会でお世話になりましたミナベ化工(株)様より卓話謝礼をニコニコにいただきました。

◇お花頂きます。 野村

会長報告

■本日のお客様は、ダイビングスクール プライムのインストラクター・トレーナー 仮屋伸一(かりやのぶかず)様です。後ほど宜しくお願い致します。

■3月17日(日)田辺RC創立60周年記念ゴルフ大会に参加の、愛須君、畑地君、小山君、野村君、坂本君、武田君、玉置君、ご苦労様でした。

■3月29日(金)~31日(日)、ライラ研修セミナーが大阪府立青少年海洋センターに於いて開催されます。神島高校から生徒2名が参加。当クラブからは新世代委員長の平野好史君が、31日(日)には佐田一三君と玉置和男君に参加していただきます。ご苦労様ですが、よろしくお願いいたします。

■3月6日の定例理事会の報告を致します。

◎出席義務免除の件(内芝君、中西君、宇都君)

…承認

◎2月20日(水)米山記念奨学生会の歓迎会への出席をメイクアップとする件…承認

◎4月16日(火)龍神プロバスクラブ創立7周年記念総会に会長出席の件…承認

◎4月18日(木)田辺ロータリークラブ創立60周年記念例会に会長出席の件…承認

■例会日時変更

◎和歌山東南RC

4月3日(水)→ 4月6日(土)18:30～

場所: ホテル川久 (西牟婁郡白浜町3745番地)

<創立42周年記念例会>

◎和歌山東RC

4月4日(木)→ 4月4日(木)18:30～

場所: ダイワロイネットホテル和歌山4F

<お花見例会>

4月18日(木)→ 4月20日(木)

場所: ザ・ブライツガーデン

<松本空港RCとの合同例会>

◎和歌山中RC 4月5日(金)→ 休会

◎高野山RC 4月12日(金)→ 4月13日(土)

■メイクアップ

◎3月17日(日)田辺RC創立60周年記念ゴルフ大会

愛須君、畑地君、小山君、野村君、  
坂本君、武田君、玉置君

◎3月18日(月)国際ロータリー親睦ゴルフ大会

(TGFR) 丸山博之君

◎3月19日(火)田辺はまゆうRC

森本君、丸山勇人君

◎3月21日(木)田辺RC 吉田君

◎3月26日(火)田辺はまゆうRC 木村君

■回覧

◎週報「田辺はまゆうRC」「粉河RC」

◎「シーカ95号」「ハイライトよねやま156号」

◎「米山梅吉記念館 官報21号」

◎「米山梅吉記念館 秋季例祭 ご案内」

◎一般社団法人 古典芸術振興会 様より

「神韻世界ツアー2013日本公演のご案内」

◎「米山寄付2月度迄集計表」

◎「R財団寄付2月度迄集計表」

◎「ロータリー補助金ニュース3月号」

◎ガバナーエレクト事務所より

「会長エレクト研修セミナーご出席の御礼」

◎ガバナー事務所より

「リスボン国際大会 日本人親善朝食会申込終了のお知らせ」

「Bridal(ブライダル)委員会よりお知らせ」

■連絡

◎4月のロータリーレートは 1ドル=94円です。



ダイビングスクール プライム 仮屋 伸一 様

本日は、田辺東ロータリークラブにお招きいただきましてありがとうございます。

私、ご紹介に預りました仮屋伸一(かりやのぶかず)です。元町のエバグリーン様の向かい側で、平成12年4月よりダイビングスクールを営んでおります。吉本様、畔田様にお声かけいただき、私のような若輩者が皆様の前でお話させていただく機会を頂戴しました。本当にありがとうございます。

私は、昭和45年上富田町に生まれました。朝来小学校、上富田中学校、田辺高校を卒業いたしました。小学2年生から高校3年生まで剣道をやっていました。そして、予備校を経て、大学に進学しました。父親も自営業だったこともあってか、なんとなく『サラリーマンじゃなく、自分の力で食べて生きたいなあ』と考えていましたので、経営学を学ぶことになりました。

子供のころは、近所の友人達と海や川で橋や堤防から飛び込んだり、魚を追いかけてたりして水遊びの毎日でした。いつも唇が紫になってブルブル震えながら泳ぎ回っていました。

その延長で、スキューバダイビングに興味を持ったのは何の不思議もなく、とても自然なことで、高校生のころに興味を持ち始めました。しかし、『学生は勉強しろ!』と親の反対でダイビングをあきらめていました。

大学生になり1人暮らしをはじめて成人を迎えたころ、通学途中にダイビングショップを見つけました。そのまま吸い込まれるようにダイビングショップに入り、ダイビングのレッスンを申し込みました。女の子にもてるんじゃないか、という純粋な動機もありましたが、その期待は大きく裏切られました。

卒業後、迷うことなくダイビング業界に入りました。仕事というよりは遊びの感覚でした。楽しいことをしようという感覚でした。大学を出た息子は、それなりの企業に就職するか公務員になることを望んでいた私の両親は、大変失望することになりました。

そんな親不孝者が遊び感覚ではじめたスキューバダイビングという仕事を通じて、私が学んだこと、提供できることについてお話をさせていただきます。

## 1つ目は、ダイビングを通じてのボランティア活動について

## 2つ目は、ダイビングが持つ今後の可能性について

お話をさせていただきます。

### まずは、ダイビングを通じてのボランティア活動について

『スキューバダイビング』と聞くと、色とりどりの熱帯魚が泳ぎまわる海中を泳いでいたり、美しいサンゴの上を気持ちよさそうに泳いでいたり、水中に降り注ぐ太陽の光を仰ぎ見たりという、優雅なイメージだと思います。陸上では絶対に見ることのできない景色や味わうことのない感覚を楽しむことができるのがスキューバダイビングの醍醐味です。まるでアフリカで野生のライオンを見るかのように、目の前には野生の魚たちが泳ぎまわって弱肉強食の世界を繰り広げます。まるで宇宙飛行士のように、本来人間が生活できない環境で無重力状態で活動します。本当に素晴らしい光景です。気持ちよく、また他では味わえない楽しさです。その楽しさを伝えたい！と思いこの仕事に就きました。

若いころはそれでよかったのですが、だんだんと自分自身が物足りなくなってきました。ダイビング自体を目的にするのではなく、ダイビングを手段として何かをしたくなってきました。

私たちはいつも天神崎でレッスンしています。その私たちの職場である天神崎を掃除しようということでゴミ拾いを始めました。お客様を迎える場所ですから、当然のことですよね。特別なことをしている感覚はまったくありませんでした。

ダイビングを楽しみにこられた人が、海の中にゴミがあるとガッカリするだろう、ということで1回潜るごとに1つのゴミを拾うことからはじめました。すると、お客様の中にも潜るごとにゴミを拾ってくださる方が出てくるようになりました。だんだんゴミを拾ってくださるお客様が増えてきたので、毎月ゴミを拾う日を決めてイベント的にやるようになってきました。

多いゴミの種類は、釣りえさの袋や水中でサンゴや岩に絡まってしまったルアーや釣り糸、お弁当の容器や空き缶、タバコの吸殻などです。釣り人だって捨てようと思って捨てたのではなく、風で飛んでいってしまったものもあるでしょう。これからの行楽シーズンはゴミが増えるのですが、それを私たちが拾うことで海がきれいになって、ダイバーと釣り人、漁師さんと共存できれば良いなと思っています。お客様からは、観光にこられた方々が美しい海だと感じてもらいたい、また来たいと思ってもらえると良いなという声もいただいています。

これとは別に、元総理大臣の麻生太郎さんが名誉会長を務める公益社団法人 日本釣振興会と元衆議院議長の河野洋平さんが会長を務める経済産業省認可の社団法人レジャースポーツダイビング産業協会という2つの団体が力を合わせて全国の釣り場の水中清掃を行っています。田辺市では

内之浦湾(丸長さんの裏の港)、その他串本や和歌山市などでも行っています。県外は神戸や大阪湾などでも行っていますし、海に限らず浜名湖や東条湖、琵琶湖といった湖でも行っています。

田辺の内之浦湾で行ったときは、釣具や弁当容器や空き缶以外にもバイクやタイヤなども引き上げられてビックリしました。

それから、去年の5月に岩手県に2日間復興ボランティアダイビングに行ってきました。車で片道約14時間。友人インストラクターたちと運転交代でいきました。宿泊先は、津波で1階部分が流されたホテルでした。近くのコンビニなどはプレハブの仮設の建物で営業していました。

津波って海から水がやってきて押し寄せてくるイメージをしていたのですが、寄せてきた波はやっぱり海に戻るんですね。その引き波が海に戻るときに、陸上のもの一切合財を海中に持って行ってしまったと聞きました。街に残っているものは、ここに建物があつたことを示す基礎のコンクリートと鉄骨で建てられた建物の鉄骨だけでした。被災から1年以上経ってからの訪問だったのですが、あちこちに瓦礫が本当に山のようにうずたかく積み上げられたままの状態でした。水没して使えなくなってしまった漁船には、ペンキやスプレーで『廃棄OK。宜しくお願いします』と書かれていたりして、どんな気持ちで書いたんだろうと涙が出てきました。

そんな陸上のもの、自分たちが普段使っていたものが海に沈んでしまっていて、網を引くことができない漁師さん、養殖を行えない漁師さんがいると聞きました。

自動車や建物など人がいるかもしれないようなものは、震災直後の捜索のときに引き上げたようで、水中では見かけませんでした。それでも海中には洗濯機や自転車といった普段使っていたであろう生活のにおいのする物や外壁やガードレールなど本来海にはないものが海底が見えないくらい一面に沈んでいました。

全国から20名のプロダイバーが集まり、2日間潜りました。1人1日2回。1回あたり約1時間で1日約2時間。2日間で合計4時間の水中作業でした。ダイバーが使うポンベの数や安全面からもこれが限界です。

たったこれだけの作業で、4トントラック10台分の震災瓦礫を引き上げました。1人のダイバーが1日1トンの瓦礫を引き上げた計算です。私はこのときの1回しか参加できていませんが、全国の仲間たちが年に数回開催しています。しかし、引き上げた瓦礫の処理の問題などもあり、あまり進んでいないようです。

これらの活動は私達ダイバーにしかできないことです。これからもコツコツと少しずつやっていきたいと思っています。また、こういう作業をするには技術と志の高いダイバーが必要なので、そんなダイバーの育成できるように普段の仕事もやっていきたいと思っています。

### 次に、ダイビングが持つ可能性について

自社のお客様がダイビングをして楽しんでいただいている

姿を見て、また一緒にボランティア活動に参加していただいて人の役に立てたことを喜んでる顔を見て気がついたことがあります。

また、ダイビングは1人ではできないルールになっています。パディと呼ばれる相方と一緒に協力して、安全な計画を立て準備し水中に潜ります。そのパディと協力し合ったり、楽しみを共有する姿を見て感じるがあります。

海を楽しむことで、ストレス解消になっているんだな。必要とされる、役に立つということで自分を認めることができるんだな。パディと協力、共感することで存在を認めてもらえるんだな。

といった精神的なメリットがあることに気がつきました。これは、ストレス社会と呼ばれる現代に急増しているうつ病や孤独感の解消に少しは役に立てるかも！と思っています。いところうつ病に悩んでいて、水中の写真や映像を見せたりすると一時的に気持ちがまぎれたりもしているようですし、状態の安定しているときはボランティアの話などをすると人の役に立てていいな〜という反応を示します。

実際お客様からも、ダイビングしたらなんか気持ちがスー〜として次の日がんばろうって思えるんだ！とか、ストレス解消して仕事がうまくいくようになった！自信が持てるようになって会社でリーダーシップを発揮できるようになった、インストラクターになる練習したらプレゼンがうまくなって契約が取れるようになった、というような声もいただくようになりました。

そんな社会人のメンタルヘルスケアに役立てるのではないかな。また、一緒に働くメンバーと一緒にダイビングすることで協力し合えるチームになったり、さらにチームワークが良くなったりもするのではないかと考えています。

まだまだまったくの妄想状態で青写真にもなっていませんが、これからダイビングを提供する場として、会社の研修や福利厚生としてダイビングを役立ててもらえる方法を考えていきたいと思っています。

もし、テスト的に導入しても良いよと言っただけの経営者様がいらっしゃいましたらお声かけいただければ大変嬉しく思います。

従業員ひとりひとりを大切にされる企業様に役立てるプランやプログラムを開発していきたいと思っています。そして、企業様と社員様が共に幸せな状態になっていただくお手伝いができるようなお手伝いをできる事業をしていきたいと思っています。

本日は、ダイビングが果たせる役割についてお話をさせて頂きました。

1つ目は、ダイビングを通じたボランティア活動について

2つ目は、ダイビングが持つ可能性について

これからも、私のできることを通じて社会に役立てる姿勢を持ち続けたいと考えております。

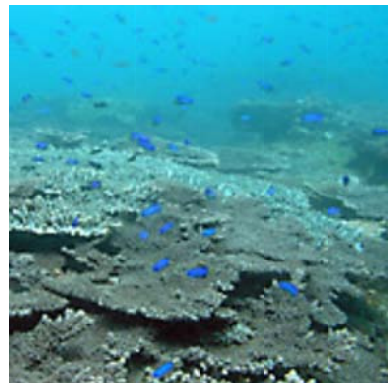
本日は私のつたない話を最後まで聞いていただき、本当にありがとうございます。

最後ではございますが、皆様のますますのご活躍を心より祈念しております。

以下はダイビングスクールプライム様のHPより



世界的にも珍しいオオカワリギンチャク。世界でダイバーが見られる水深に生息しているのはここ田辺湾だけ！（らしいです）



和歌山県田辺湾には世界で最北限といわれるサンゴ礁があります。



堀会員より頂きました